

寺田賢二郎教授が国際計算力学連合 (IACM) の会長に就任しました (2022/8/1)

テーマ：国際計算力学連合の会長に就任
URL：<https://iacm.info/>

寺田賢二郎教授（計算安全工学研究分野）が、国際計算力学連合（International Association for Computational Mechanics: IACM）の会長に就任しました。国内外の計算力学分野の組織で重要な役職を歴任し、計算力学の発展に大きく貢献してきたことが評価され、IACM 評議会（2022 年 7 月 26 日）による投票で選出されました。任期は、2022 年 8 月～2026 年 8 月の 4 年間です。

IACM は、世界各国から 33 の関連団体が参画し、5144 名（2022 年 9 月現在）の会員を有する計算力学分野で唯一の国際組織です。我が国では日本計算工学会（The Japan Society for Computational Engineering and Science: JSCES）と日本計算力学連合（Japan Association for Computational Mechanics: JACM）の 2 団体が傘下に置かれています。1981 年に Georgia Institute of Technology（米国）で開催された会議に伴って設立され、その本部をバルセロナ（スペイン）におきます。2 年毎に開催される World Congress on Computational Mechanics (WCCM) を中心に国際交流活動を先導することで、研究者や実務者の国際的な活動やネットワーク形成を促進し、計算力学の進歩に重要な役割を果たしてきました。

寺田教授は IACM 主催の WCCM-APCOM YOKOHAMA 2022（15th World Congress on Computational Mechanics & 8th Asian Pacific Congress on Computational Mechanics）（2022 年 7 月 31 日～8 月 5 日）における事務局長（Secretary General）を務め、国内の研究者・技術者と共に運営を担いました。細やかな配慮の行き届いた運営が功を奏し、完全オンラインの国際会議であったにもかかわらず約 2,300 人が参加するなど、盛況のうちに学会は終了しました。その Closing Ceremony において新会長として挨拶を行い、閉会の辞を述べて会議を締めくくりました。

New IACM Officers

President

Kenjiro TERADA, Japan



Secretary General

John DOLBOW, USA



Vice Presidents

Jacob FISH, USA
Americas



Zhuo ZHUANG, China
Asia Pacific



Michael KALISKE, Germany
Europe – Middle East – Africa



IACM 会長ほか役員